

読書でビジネス力をアップする(第89回)

親が学び、子どもに伝える“お金”の話

2022.10.05



父が子に伝える13歳からのお金に一生困らないたった3つの考え方
石原尚幸 著/ 三笠書房

お金の本です。お金のプロが、自らの実体験に基づいて教える、シンプルかつユニークなお金の教育法で、お金の理解力が高まります。それは一生モノの財産になるはず。誰もが、わが子にはお金の苦勞をさせたくないと思うはず。でも、学校では教えてくれません。そこで親の出番です。とはいえ、教えるのは簡単ではありません。親自身が学んでないからです。

というわけで、まずは親自身が学ぶべきであり、そのための本書です。お金に好かれ、お金を増やし、お金を守るとお金に困らなくなります。そんなシンプルで強力なお金の原理原則を学べます。

子どもにお金の話をするというのは簡単ではありません。以前は、お金の話は卑しいとされる場合があり、親自身も学ぶ機会がほとんどありませんでした。ですから、子どもにもうまく伝えられません。本書は、わが子に伝える口調で語っているため、数字などではなく、容易な表現と身近な例が使われています。とはいえ、子どもだましでなく本格的な内容で、大人も学べる内容です。

例えば、「お金を稼げる人は、世の中にはお金があふれている。それを手にするために、困りごとを見つけて解決しようとする」と語っています。これは本質をついていると思います。また、お金について書かれた本にありがちな節約や投資にとどまらず、ビジネスそのものを学べます。お金の方程式などは、ビジネスの基本そのものです。コンサルタントの真骨頂といえます。

もちろん、子どもに教えるという本来の目的でも、大いに威力を発揮するでしょう。一度にすべてを理解させられなくても、日常会話に織り交ぜて使えそうな小ネタがたくさん詰まっています。わが子がお金の苦勞をしないようにアドバイスをしたい人はもちろん、自分自身がお金の本質を学び、お金をもっと増やしていきたいと考える人にもおすすめします。

仕事は「嫌いだが、うまくできること」を選ぶ… 続きを読む